

三矢の訓



学 校 だ よ り
令 和 2 年 7 月 3 1 日
第 2 号
岡 山 市 立 伊 島 小 学 校

電 話 (086) 252-2251
FAX (086) 252-5657
URL <http://www.city-okayama.ed.jp/~ishimas/>

授業の充実と健康に留意しながら過ごした1学期間が終わりました。

夏休みは、基礎・基本の復習と夏休みだからこそできる体験や挑戦をしてほしいものです。

4月に新型コロナウイルス感染症対策で臨時休校になり、5月21日より学校が再開しました。ご家庭では、朝晩の検温と健康管理にご留意いただき、児童は、元気に学校生活を送ることができました。ありがとうございました。心より感謝いたします。



保健室廊下掲示物 「コロナを防ごう」



放課後の消毒

学校での感染症対策としまして、健康観察、換気、手洗いの励行、下校後の消毒を主に取り組みでまいりました。新しい生活様式を意識しながら行事の中止を決定しなければならないことは残念でなりません。そうして生じた時間を休校中の未学習に充てました。今年度の学習内容は、年度内に終わられるように見通しがもてていますので、ご安心ください。

4月9日にスタートした1学期が、4月20日には臨時休校となり、5月21日に再スタートし、7月31日の終業式をもって終了します。1年生の子どもたちは、57日間、2年生から6年生までの子どもたちは、60日間登校しました。新学年での新しい学習に対し、いつも「めあて」「目標」を意識して取り組んでいました。

また、1学期に話した学校教育目標の中で、めざす子ども像の
< つよく > 心とからだをきたえる子ども
< ただしく > よく見よく聞きよく考える子ども
< あたたく > 助け合い共に伸びる子ども

が学習や生活の中で、見られるよう指導を継続してまいりました。

子どもたちの様子を見てみると、落ち着いて、かつ真剣な顔つきで、時には笑顔で活動に取り組んでいたことに感心しています。1学期にたくさんの力を付け成長したことを、自分でも実感したことでしょう。これもひとえに、日



落ち着いた1日のスタート

保護者の皆様や地域の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。今年の夏休みは25日間です。1学期にこつこつ取り組んできたことをこれからも続けていくことが大切です。さらに、自分が決めた課題に時間をかけたり継続的に観察をしたりすることもできます。たくさんのワクワク、ドキドキに出会ってほしいです。

水の事故、交通事故、不審者、災害等に遭わないよう安全で楽しい毎日となることを願っています。

8月26日の始業式には、全員元気な顔を見せてほしいと思います。

例年、多くの外部講師の方や地域の方においでいただき、学習に関係した内容を教えていただき、深い学びの機会を提供していただいています。しかし、1学期は、そのような活動もコロナ対策として制限があり、できないことが多く、残念でした。その分、担任団でできる限りの工夫をしましたが、やはり生の声を聞くことは貴重だと実感しました。いつもおいでいただいている講師の皆様、今後とも機会がありましたら、「伊島小の子どもたちのため」に、お力を発揮していただけたらと思います。保護者の皆様の読み聞かせも楽しみにしています。お気持ちだけいただいて、お礼申し上げます。

【7/1 3年 池田満之さんのお話】

岡山市京山地区 ESD 推進協議会会長の池田満之さんをお招きして、伊島学区の昔の様子を教えてくださいました。池田さんには、毎年来ていただいているのですが、今年度は、コロナ対策として、密にならないように体育館で行いました。いつも持参してくださっている3色カードも、人が触ることを配慮して、今回はハンドサインでクイズに対して答えるようにしてくださいました。



池田さんは、3年生の児童が伊島学区のことを知ることにより、大人になっても郷土を愛する大人になってほしいという熱意をもって話されていました。何度聞いても伊島学区の新しい発見があり、子ども達にとって伊島学区のことを深く知る学習となりました。さて、伊島学区にパワースポットがあることをご存じでしたか。

【岡山西警察署少年警察協助手員 京山班】



見守り中の協助手員さん

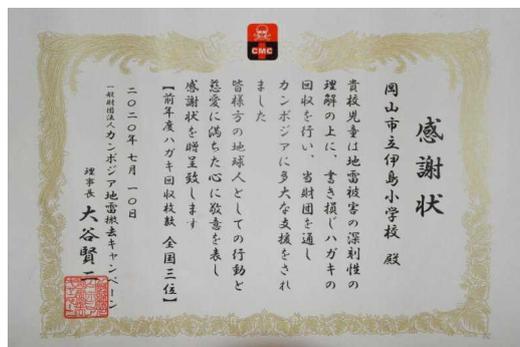
月に1回、京山学区の児童生徒を見守るために、協助手員の皆様が来校し、校内を巡回してくださいます。特に大きな問題の無い地域ですが、京山学区の学校を回ることによって、内外の問題が起こらないように抑止力に繋がっているようです。

写真は4名の方がいらっしゃったときのものです。担当の方は全部で6名おられます。(撮影時のみマスクを外していただきました。)

協助手員の皆様は、高橋琢之様、水舟雪絵様、小川典子様、安井哲也様、石田佳子様、板野圭史様です。

【わたしたちにできる国際協力】

毎年6年生が、3学期に書き損じ葉書を回収しています。保護者の皆様の協力のもと、たくさん葉書が集まり、カンボジアで地雷撤去をしている団体「(財)カンボジア地雷撤去キャンペーン」に送っています。この度、回収の数が全国3位になったことで団体より改めて感謝状が届きました。さらに詳しい内容として、集めた葉書枚数1451枚(全国3位)、葉書の合計金額68,274円(全国4位)、この葉書によって地雷を撤去できる範囲が683㎡になるそうです。子ども達にとっても、小さな働きが大きな国際協力・国際貢献に繋がっていることが実感できる機会となり、うれしい限りです。



なお、個人情報には見えのないようにして出していますので、ご安心ください。今後ともどうぞよろしくお願い致します。